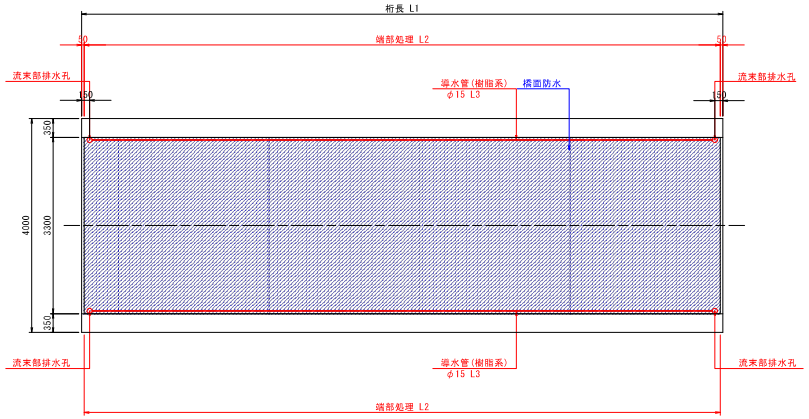
橋面補修詳細図 S=1:50

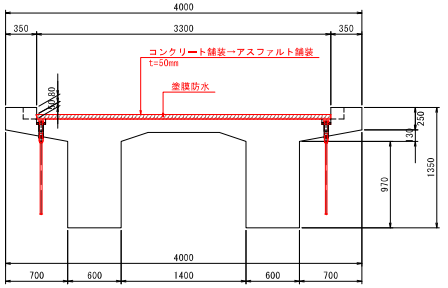
玉笠橋

平面図



径間No.	桁長 L1(mm)	桁長 L2(mm)	桁長 L3(mm)
1	15600	15500	15200
2	15500	15400	15100
3	15500	15400	15100
4	15500	15400	15100
5	15500	15400	15100
6	15500	15400	15100
7	15700	15600	15300

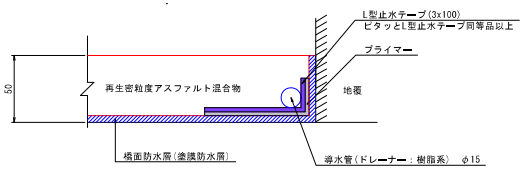
上部工断面図 S=1:30



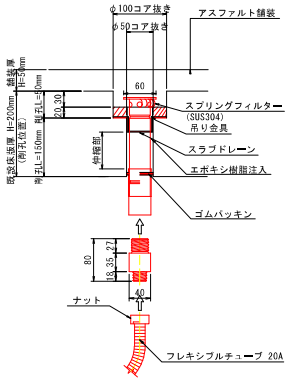
注) 現況舗装厚に合わせて、施工を行うこと。

端部処理詳細図 s=1:2

地覆部

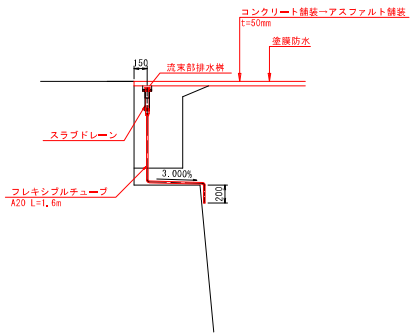


床版削孔詳細 S=1:5

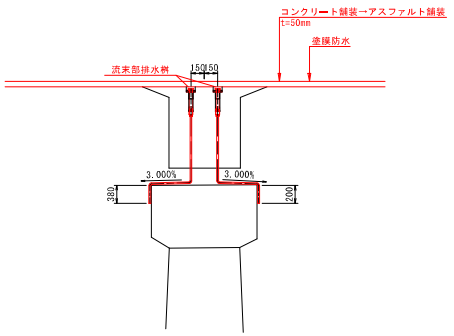


流末部詳細図 S=1:30

橋台部

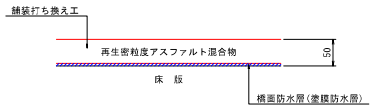


橋脚部



舗装及び防水層構成図 S=1:5

車道部・路肩部



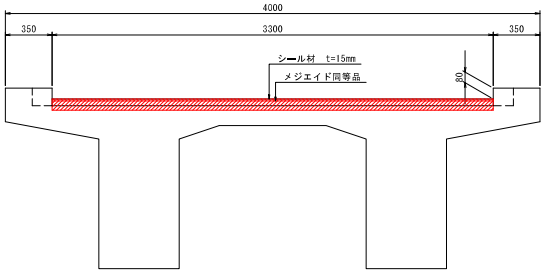
注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 排水装置設置箇所は、現地状況に応じて適宜移動させること。

【玉笠橋】

工事名	R6海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道玉笠線		
工事箇所	海部郡海陽町小川字玉笠		
図面名	橋面補修詳細図		
縮尺	1:50	図面番号	31 / 44
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

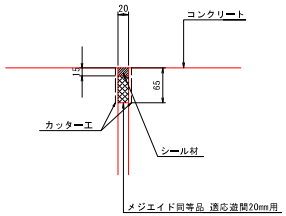
伸縮装置補修詳細図 S=1:20

断面図



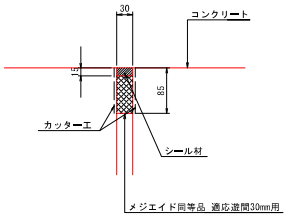
遊間処理断面図 S=1:5

（橋台部）



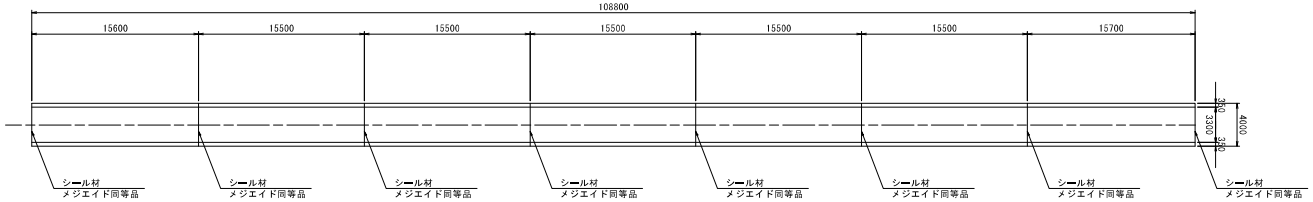
橋台側　　床版側

（橋脚部）



注1）仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
注2）既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。
注3）カッターエは損況の遊間で設置できない場合に適用すること。

平面図S=1:250



設計条件

	A1橋台	P1～P6橋脚	A2橋台
温度範囲	-5℃～35℃	-5℃～35℃	-5℃～35℃
温度変化伸縮量	3.90 mm	3.90 mm	0.00 mm
常時設計伸縮量	20.7 mm	29.4 mm	18.7 mm
地震時移動量	-	-	-

数量表

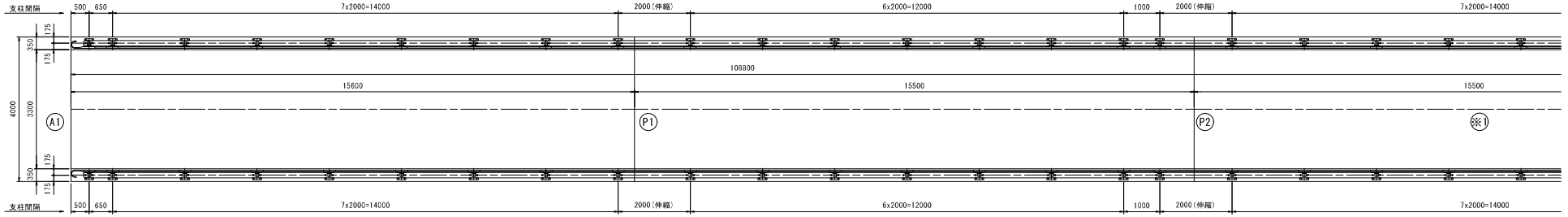
名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
施工延長	-	m	26.400	
シール材	シリコン系	m	26.400	使用量 10.9L
止水材	メジエイド同等品（適応遊間20mm用）	m	6.600	橋台部
	メジエイド同等品（適応遊間30mm用）	m	19.800	橋脚部

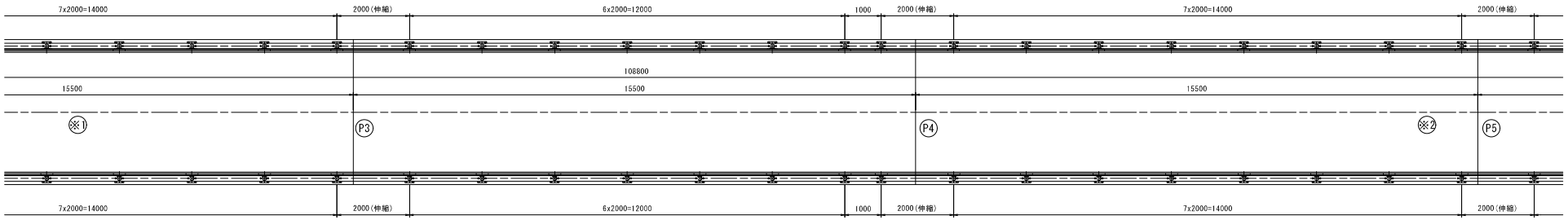
【玉笠橋】

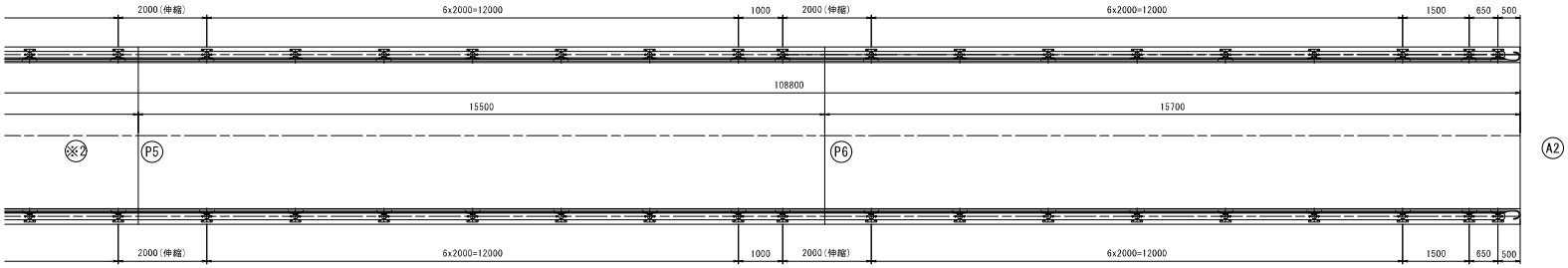
工事名	R6海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道玉笠線		
工事箇所	海陽町小川字玉笠（玉笠橋）		
図面名	伸縮装置補修詳細図		
縮尺	1:20	図面番号	32 / 44
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

防護柵取替工詳細図（その1） S=1:60

平面図







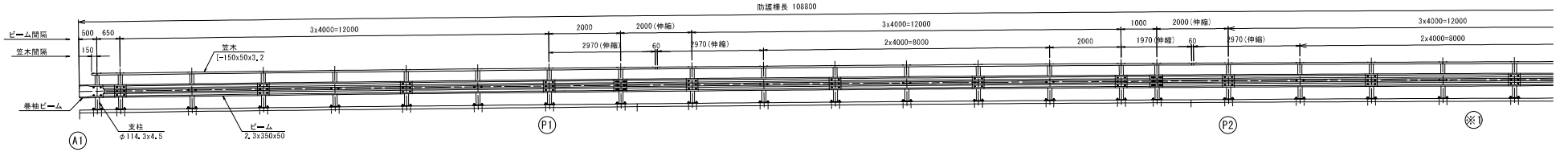
注） 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。

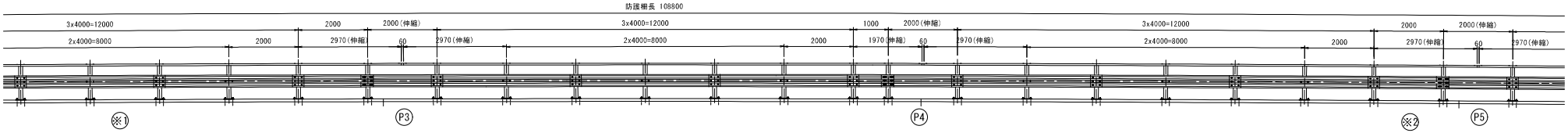
【玉笠橋】

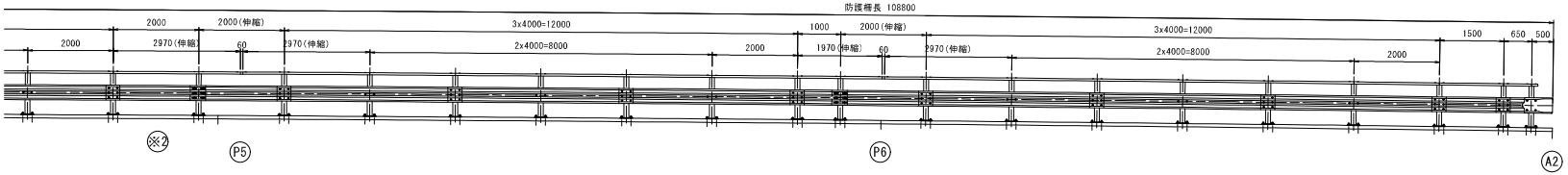
工事名	R6海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道玉笠線		
工事箇所	海陽町小川字玉笠（玉笠橋）		
図面名	防護柵取替工詳細図（その1）		
縮尺	1:60	図面番号	39 / 44
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター		

防護柵取替工詳細図(その2) S=1:60

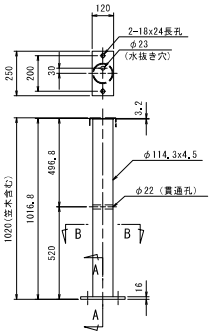
側面図



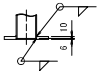




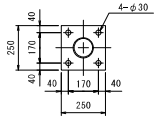
支柱 S=1:15



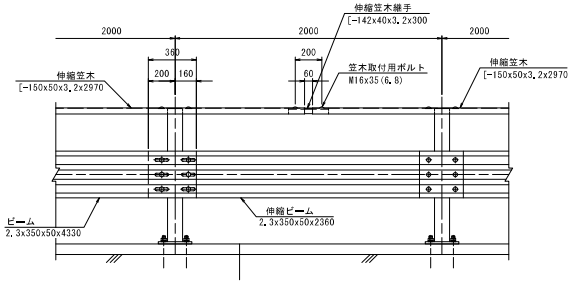
A-A 断面図

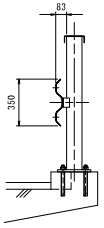


B-B 断面図

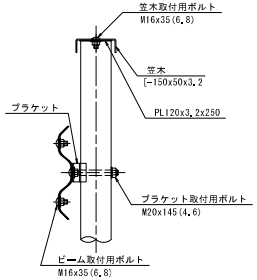


伸縮部詳細図 S=1:20

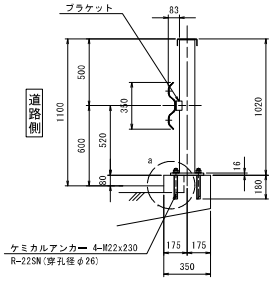




取付詳細図 S=1:10

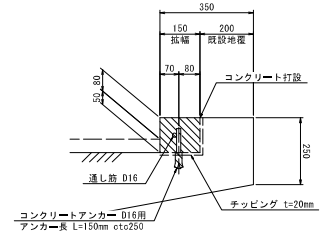


断面図 S=1:20



地覆部改良詳細図 S=1:10

(a部詳細図)



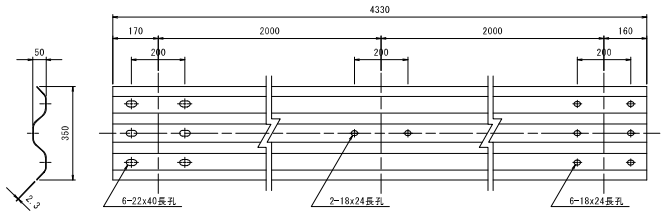
注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) コンクリートアンカーは、新設防護柵アンカー位置と干渉しない位置に設置すること。

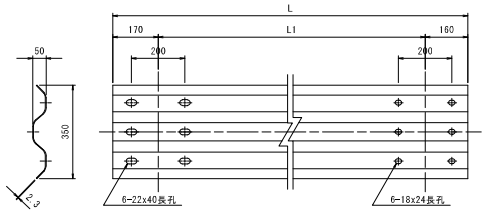
【玉笠橋】

工事名	R6海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道玉笠線		
工事箇所	海陽町小川字玉笠(玉笠橋)		
図面名	防護柵取替工詳細図(その2)		
縮尺	1:60	図面番号	40 / 44
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

防護柵取替工詳細図(その3) S=1:60

ビーム

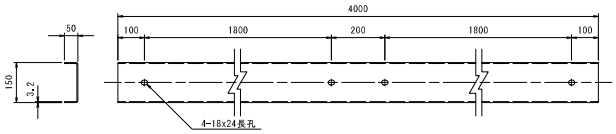


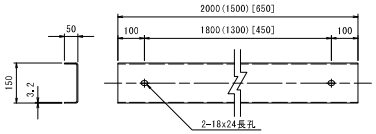


ビーム加工表

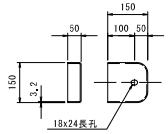
L	L1
2330	2000
1830	1500
1330	1000
980	650

笠木

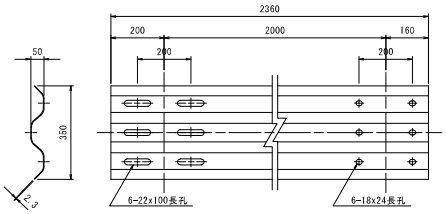




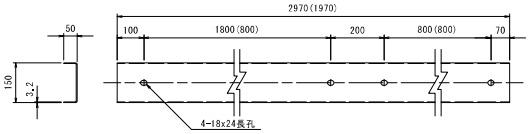
端部笠木



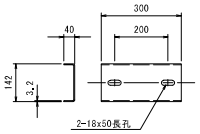
伸縮ビーム



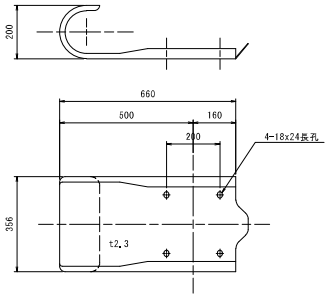
伸縮笠木



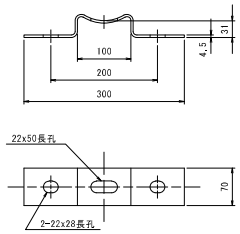
伸縮笠木継手



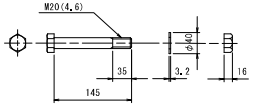
巻袖ビーム



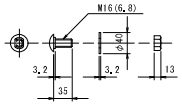
ブラケット S=1:5



ブラケット取付用ボルト S=1:5



笠木・ビーム取付用ボルト S=1:5



注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。

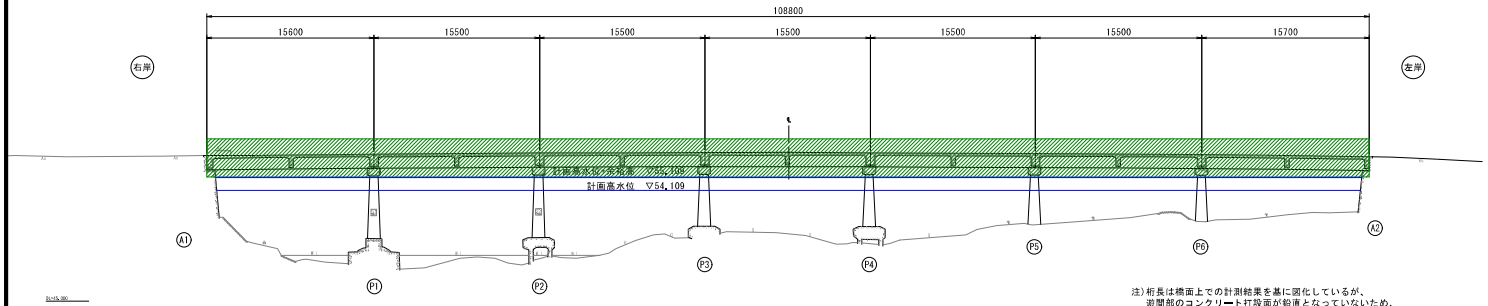
【玉笠橋】

工事名	R6海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務		
路線名等	町道玉笠線		
工事箇所	海陽町小川字玉笠(玉笠橋)		
図面名	防護柵取替工詳細図(その3)		
縮尺	1:60	図面番号	41 / 44
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	公益財団法人 徳島県建設技術センター		

施工計画図（その1） S=1:250

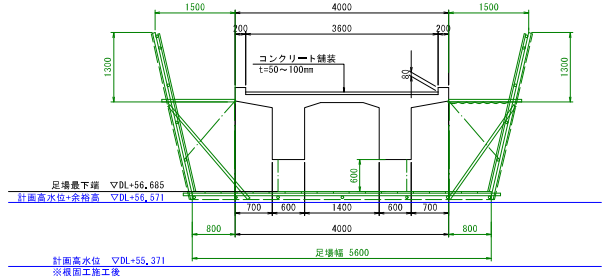
上部工補修時

側面図

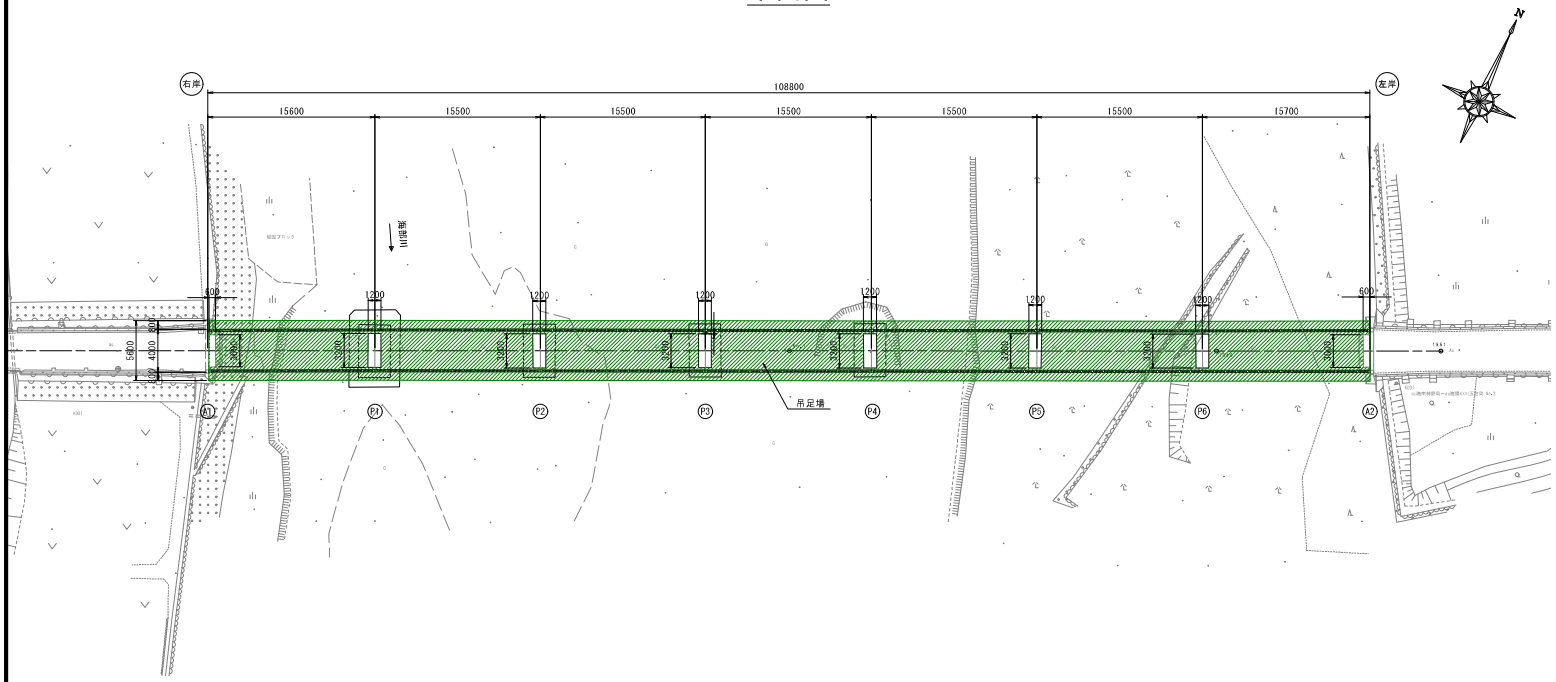


注）桁長は橋面上での計測結果を基に図化しているが、
道間部のコンクリート打設面が鉛直となっていないため、
主桁側面を計測した場合には桁長が異なる点に留意すること。

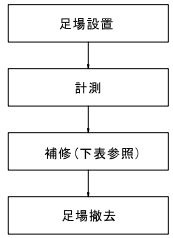
上部工断面図 S=1:50



平面図



施工フロー



【補修工法一覧表】

項目	補修工法	対象部材	備考
上部工補修	ひび割れ注入工	主桁，横桁，床版	
	ひび割れ充てん工	主桁，横桁，床版	
	断面修復工	主桁，横桁，床版	
	表面含浸工	主桁，横桁，床版，地覆部	
	水切り設置工	床版	
	伸縮装置補修工	A1，A2橋台上，P1～P6橋脚上	
	高欄・防護柵取替工	防護柵	
	地覆部改良工	地覆部	
	橋面防水工，舗装打換工	橋面	

施工要領

※吊足場は計画高水位+余裕高より上面に設置すること。
※吊足場設置高さは、現況状況及び施工性に応じて適宜決定を行うこと。
※足場の設置・撤去時や資材搬入時、高欄補修時、橋面補修時には通行規制が必要となる。
※作業中に交差河川へ酸や作業道具が落下しないよう十分に留意すること。
※補修方法については、各補修詳細図を参照のこと。

【玉笠橋】

工事名	R6海陽町橋梁修繕詳細設計委託業務
路線名等	町道玉笠線
工事箇所	海陽町小川字玉笠（玉笠橋）
図面名	施工計画図（その1）
縮尺	1:250　図面番号　42 / 44
会社名	四国建設コンサルタント株式会社
事業者名	公益財団法人　徳島県建設技術センター